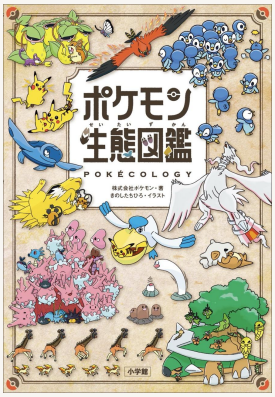
Brand Sheet

国内Hot Topics

「ポケモン生態図鑑」発売について



2025年6月18日、ポケモンの生態をアカデミックに紹介する「ポケモン生態図鑑」が発売されます。本書は、さまざまなポケモンたちを、体の特徴、食事、睡眠、他のポケモンとの関係性、移動能力など、多角的な視点から、詳細に紹介しています。東京大学大学院出身で博士号（農学）を取得している、株式会社ポケモン社員の米原善成が企画・構成・執筆を、同博士号を持ち、動物生態本で知られる、きのしたちひろ氏がイラストを担当しました。
ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ中に登場する、ポケモンの情報が記録されるどうぐ「ポケモンずかん」の情報をベースに、生態学的アプローチでポケモンの世界を見つめ直し、複数のポケモンを一つの視点で比較したり、一種類のポケモンをさまざまな角度から考察したりすることにより、奥深いポケモンの生態を本格的にまとめた一冊で、子どもから大人まで楽しめる内容となっています。同日には、オフィシャルショップ ポケモンセンターで関連グッズも発売予定です。

『ポケモン生態図鑑』　著：株式会社ポケモン　イラスト：きのしたちひろ　発行：小学館

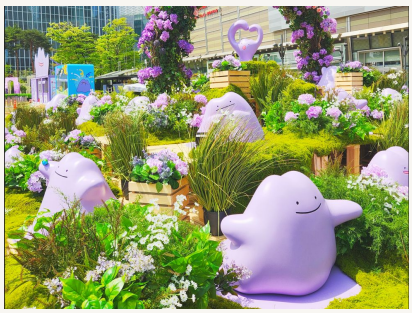
イシツブテといわポケモンたちがお出迎え！「イシツブテ公園」



2025年4月2日、岩手県北上市の展勝地内に「イシツブテ公園 in きたかみ」が開園しました。この公園は、2019年5月に岩手県と締結した「地域活性化に関する連携・協力協定」の一環で誕生。「いわて応援ポケモン」であるイシツブテと、いわタイプのポケモンたちをモチーフにした施設で、県内では久慈市に続く2園目となります。
久慈市の「イシツブテ公園」では、地元で産出される琥珀（こはく）にちなみ、ポケモンのカセキである「ひみつのコハク」から復元されるプテラがクライミング遊具の岩山に登場し、その岩山にはポケモンのカセキが埋め込まれています。また、このたび開園した「イシツブテ公園 in きたかみ」の岩山では、かぶるおめんでタイプや特性が変わるオーガポンが、訪問者を出迎えています。
どちらの公園も、ポケふた（ポケモンがデザインされたマンホール蓋）の設置や、開園から一定期間『Pokémon GO』との連携も実施されており、県内外から訪れる子どもたちやポケモン世代の家族連れをはじめとしたポケモンファンが、一年を通して楽しめる観光スポットとなっています。

海外Hot Topics

メタモンが大量発生！「ポケモンタウン2025 with ロッテ」を開催



韓国のソウル市にて、製菓・流通・観光などを展開するロッテグループとの共同企画「ポケモンタウン2025 with ロッテ」が開催されました。
本イベントは、ソウル市松坡（ソンパ）区にあるロッテワールドタワーとロッテワールドモール、石村湖（ソクチョン湖）など、蚕室（チャムシル）一帯をポケモンの世界観で彩る大規模なものです。好評だった昨年度に続き、さらに規模を拡大し、2年目を迎えました。
今回の主役は、へんしんポケモン「メタモン」。ソクチョン湖に浮かぶ、約16mの高さのラプラスやピカチュウに変身したメタモンの巨大バルーン、約100匹のメタモンが大量発生したフォトスポット、頭上から見るとメタモンの形に見える体験型ポップアップストアなどさまざまな展示や体験イベントが登場しました。特に、フォトスポットでは、メタモンのポーズを真似て撮影し、楽しむ来場者の姿が見られました。
2025年4月25日から5月18日までの開催期間中、約500万人もの来場者で賑わい、笑顔が溢れました。今後も、韓国でのポケモンの取り組みにご注目ください。

English Schools' Football Associationとの取り組み



イングランドの学校サッカー統括団体 English Schools' Football Association（ESFA）とポケモンによる、子どもたちのサッカー活動を応援する取り組みが、2025年で3年目を迎えました。活動の一環として、イングランド国内5000以上の学校のチームと、5万人以上の小学生が参加する、国内最大級の大型トーナメント「The Pokémon Primary Schools' Cup」を開催。ESFAは、この活動を通して、子どもたちへの「チームワークの促進」「他者の尊重」などの啓蒙を目指しています。
また、同年春には、ポケモンの協力は初となる、Schools' Football Week campaignも実施。Trailblazerという指定校制度によって認定された学校にTシャツやポケモンのサッカーボールの配布を行い、学校におけるサッカー活動の支援・促進に尽力しました。指定校250の枠に対し、1000校近くから応募をいただいています。関係者からは、「この期間を通じて、子どもたちが学校の枠を超えてスポーツを楽しむ姿が見られるようになった」との、喜びのコメントも寄せられています。これらの活動は、来年以降も継続予定です。

本シートは主に報道関係の皆様に向け、ポケモンブランドの概要をまとめた資料です。

ビデオゲーム

全ポケモン関連ゲームソフトの累計出荷本数 4億8900万本以上／対応言語数（『ポケットモンスター』シリーズ）9言語　（2025年3月末現在）

『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』 日本ゲーム大賞「ベストセールス賞」「優秀賞」受賞　（2023年9月）

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ

ポケモンの原点である『ポケットモンスター 赤・緑』の、ポケモンを捕まえ・育て・集め・対戦する、4つの要素はそのままに、最新作の『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』では、シリーズ初のオープンワールドを冒険することができます。

他にも、『名探偵ピカチュウ』など、『ポケットモンスター』シリーズとは違った世界観を楽しむことができる作品も存在します。

カードゲーム

累計製造枚数 750億枚以上／販売言語数（実績） 16言語／販売地域数（実績） 90以上の国と地域　（2025年3月末現在）

ポケモンカードゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観をテーマにしたトレーディングカードゲームであり、1996年10月に販売が開始されました。ビデオゲームと同様の「収集」「対戦」「交換」を、カードで楽しめます。
「ポケモンカードゲーム スカーレット＆バイオレットシリーズ」では、ビデオゲーム最新作に登場するポケモンたちも大活躍。
魅力的なイラストによるコレクション性ばかりでなく、集めたカードの組み合わせを考えて対戦する戦略性や相手との心理的な駆け引きも醍醐味です。

映像

テレビアニメ放送地域数（実績）190以上の国と地域　（2025年3月末現在）

「Pokémon Kids TV」YouTubeチャンネル登録者1000万人達成「ダイヤモンドクリエイター アワード」受賞　（2023年12月）

テレビアニメ「ポケットモンスター」

2023年春より放送が開始された、新シリーズです。不思議なペンダントを持つパルデア地方出身の少女・リコと謎のモンスターボールを持つカントー地方出身の少年・ロイの2人の主人公が、冒険を通じて大事な何かを「見つける」物語です。

「ポケモン Kids TV」／「Pokémon Kids TV」

ポケモンの歌や世界の童謡、英語や知育系動画など、お子様向けのコンテンツを中心に配信する、ポケモンの公式YouTubeチャンネルです。

その他
Netflixシリーズ「ポケモンコンシェルジュ」　〈制作：ドワーフスタジオ（株式会社FIELD MANAGEMENT EXPAND）　配信先：Netflix〉
「ポケモンたちとの甘い冬」など　〈制作：日食記（中国の映像クリエイターチーム）　配信先：YouTube〉
「ただいま（良辰有梦）」　〈制作：寒木春華（中国のアニメスタジオ）　配信先：bilibili・YouTube〉

アプリゲーム など

『Pokémon Sleep』「Google Play ベスト オブ 2024」
マルチデバイス部門 ゲームカテゴリ（日本）大賞受賞（2024年11月）

『Pokémon GO』

GPSを活用し、ポケモンの冒険の舞台を現実世界に広げた、位置情報ゲーム。「Pokémon GO Fest」をはじめ、リアルイベントも数多く開催されています。
開発・提供：Niantic, Inc.　ポケモン

『ポケモンマスターズ EX』

歴代の『ポケットモンスター』シリーズに登場したトレーナーたちと、3対3のチームバトルを楽しむことができるアプリゲームです。バトルの他にも、様々な地方のトレーナー同士の交流を楽しむこともできます。
開発・提供：ディー・エヌ・エー　ポケモン

『ポケモンスマイル』

ポケモンといっしょに楽しく歯みがきができる、完全無料アプリゲーム。上手に歯みがきができると、ゲーム内の「むしばきん」を倒して、ポケモンを捕まえることができます。毎日少しずつ遊ぶことで、子どもの歯みがきの習慣化を楽しくサポートします。
開発・販売：ポケモン

『ようこそ! ポケモンカフェ～まぜまぜパズル～』

“まぜて、つなげて、消しまくる”パズルゲーム。「ポケモンカフェ」の店長となり、ポケモンといっしょにパズルで料理やドリンクを作り、来店するポケモンたちをおもてなしします。
開発：ジニアス・ソノリティ　発売・販売：ポケモン

『ポケモンユナイト』
5人一組のプレイヤーが、さまざまな戦略を立て、連携したりしながら、時間内に相手ゴールを目指して得点を競い合う、チーム戦略バトルゲームです。eSportsとしての認知も広がっており、Nintendo Switchとスマートフォンの両方に対応しています、
開発：Tencent　発売・販売：ポケモン

『Pokémon Sleep』
スマートフォンを枕元に置くだけで、睡眠を計測・記録・分析しポケモンの寝顔を集める、睡眠ゲームアプリです。自分の睡眠状態を記録することで、十分な時間・規則正しく寝ることの意識付けが図れ、睡眠リズムを整えるきっかけとなります。
開発：SELECT BUTTON　販売：ポケモン

『Pokémon Trading Card Game Pocket』
ポケモンカードを「集める」ことをメインテーマにしたアプリ。毎日、無料でカードパックを開封できます。デジタルならではのカードの表現や演出も取り入れられており、スキマ時間に、誰でも気軽に楽しむことができます。
開発：クリーチャーズ　ディー・エヌ・エー　販売：ポケモン

『ポケモンフレンダ』
ポケモンのこども向けアーケードゲーム。ビデオゲームよりもシンプルなルール設定や、ボタンを叩くなどのわかりやすい操作性、ポケモンが描かれた配出物が手に入るなど、未就学児でも、ポケモンの世界観を楽しむことができます。2007年にスタートし、第5弾となる今作からは新たにタッチパネルを導入。2024年7月より、ポケモンセンターや商業施設などで稼動開始。
プレイ料金：100円+フレンダピック払い出し1枚100円／最大1プレイ600円(すべて税込)
開発：マーベラス　運営：タカラトミーアーツ

オフィシャルショップ

出店状況：日本国内　22店舗／日本国外　2店舗（台湾・シンガポール）
商品種数：約2700種類（「ポケモンセンター」）（2025年3月末現在）

ゲームソフト・カードゲーム・オリジナルグッズに加え、ファンにうれしいサービスなども豊富な「ポケモンセンター」や、人気のグッズを中心にラインナップしたカジュアルショップ「ポケモンストア」を展開中。ポケモンの世界観の中でお買い物が楽しめることから、世界中から多くのお客様がいらしており、一部国内店舗では免税利用率が20%を超えています。

ライセンス

さまざまな分野でのコラボレーションを実現し、魅力的な商品やサービスを創出することで、1人でも多くの方に向けて、ポケモンとの新たな出会いをご提供していきます。

主なお取引先
赤城乳業、イオンモール、サンヨー食品、資生堂、小学館、ソフトバンク、第一屋製パン、タカラトミー、
ダスキン（ミスタードーナツ）、日本生命、日本マクドナルド、バンダイナムコホールディングス、P＆G、
ファーストリテイリング、ファミリーマート、丸美屋、森永製菓、ユニ・チャーム、読売新聞東京本社、ロッテなど（五十音順）

直近の注目事例：サントリーコーヒー「ＢＯＳＳ」と「ポケモンカードゲーム」とのコラボキャンペーン
2025年2月4日から「ボスex 進化の微糖」が全国で発売され、「レインボーマウンテンブレンド」や「贅沢微糖」などボス主力5商品も、「集めるポケカ缶」としてリニューアルされました。
「ボスex」の名称は、ポケモンカードゲームにおける高いHPと強力なワザを持つ特別なポケモンを象徴する“ex”にちなみ、「働く人に進化・変化する勇気をもたらしたい」という願いを込めたものです。
また、5月6日からは「ボスex 進化の微糖」のデザインが刷新され、5月20日にはゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場する悪の組織のボス「ロケット団のサカキ」の描き下ろしポケモンカード付きの「割るだけクラフトボスカフェ 2本パック」も発売。
さらに、「サカキのボスジャン」が当たるキャンペーンも実施されるなど、ＢＯＳＳとロケット団の「ボス」という共通点を生かした企画となっています。





その他の取り組み

ピカチュウジェット運行中の航空会社
ANA / ガルーダインドネシア / スカイマーク / スクート / チャイナ エアライン / ティーウェイ（五十音順）

「ポケモンローカルActs」 連携協定締結先の道県
北海道 / 岩手県 / 宮城県 / 福島県 / 福井県 / 三重県 / 鳥取県 / 香川県 / 高知県/ 長崎県 / 宮崎県 / 沖縄県

そらとぶピカチュウプロジェクト

「そらとぶピカチュウプロジェクト」は、人と人、人と地域をつなぐことで、旅の楽しみをお届けします。その象徴として、「ピカチュウジェット」が就航、2025年5月末現在は6つの航空会社で9機が運航しています。

ポケモンローカルActs

日本全国の地方自治体と連携し、地域ごとに「推しポケモン」を選定。各地の魅力と一匹一匹のポケモンの魅力を国内外に同時発信することで、ポケモンファンに各地へ足を運んでいただくことを目指す取り組みです。特産品・伝統工芸品や交通機関とのコラボレーション、ポケモン公園やポケふたの設置などを推進しています。（2025年5月末現在12道県と協定を締結）

一般財団法人　ポケモン・ウィズ・ユー財団

2011年、弊社の有志社員を中心に、被災地のこどもたちを支援する活動「POKÉMON with YOU」が発足。2021年、ポケモンらしい社会貢献を持続的に拡大するために、ポケモン・ウィズ・ユー財団を設立しました。活動領域も広がり、こどもの災害対策支援・こども食堂の支援・ICT教育支援・ポケモンスカラシップの運営などを推進しています。

ポケモンワールドチャンピオンシップス

2004年にカードゲームの世界大会として始まった「ポケモンワールドチャンピオンシップス」。現在は、ビデオゲーム・『ポケモンユナイト』・『Pokémon GO』部門も追加され、毎年、世界各地の予選を勝ち抜いたプレイヤーが出場。言語の壁を越えた対戦や、コミュニケーションの場となっています。まさにポケモンが世界をつないでいるかのような本大会は、長らく欧米で開催されてきましたが、18回目となる2023年に初めて日本で開催されました。2024年にはハワイで開催され、50以上の国と地域からプレイヤーが出場。ホノルルの会場には、選手と観客合わせて13000人以上が来場しました。

2024年にハワイで開催された、「ポケモンワールドチャンピオンシップス」の様子





ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに1000種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。
始まりは、1996年に株式会社ゲームフリークが開発、任天堂株式会社より発売された1対のゲームソフト『ポケットモンスター　赤・緑』で、後に株式会社クリーチャーズが企画・開発したポケモンカードゲームへと続きました。
捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。

発行元：株式会社ポケモン広報室　2025年5月発行
©2025 Pokémon. ©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。